

# 大地の芸術祭ワークショップ〈孟地小学校〉 「陶で翼のレリーフを作る」



7月26日、大地の芸術祭ワークショップが孟地小学校で開かれました。今回は陶芸家の塩澤宏信さんの指導によるもので、テーマは「私の翼」。孟地小学校の児童たちは、用意された粘土板に思いおもいの翼をかたどり、レリーフ（浮彫りにした壁掛け）を作っていました。この作品は9月2日から14日までふるさと会館で展示されます。

## 主な内容

- 市町村合併・十日町圏域を知ろう…②～③
- 防災の日／新農業委員紹介…④～⑤
- 大地の芸術祭／松代町科学実験教室…⑥～⑦
- 緑の少年団／高齢者いきいきセンター…⑧～⑨
- 東京発／松代の自然…⑩～⑪
- 医療・福祉／できごと…⑫～⑬
- 文芸・お知らせ・町の行事予定…⑭～⑮

### ■松代町役場

〒942-1592 新潟県東頸城郡松代町大字松代3252番地1  
TEL 02559-7-2220  
FAX 02559-7-2526・7-2300  
URL <http://www.echigo-matsudai.com/>

## 市町村合併とは

いくつかの市町村がひとつになって、効率的な行政運営や広域的なまちづくりを行うことで、行政サービスの維持・向上を図ろうとするものです。

## わたしたちの町だから

知って・学んで・考えて…市町村合併

# 十日町圏域を知ろう！①

(松代町、十日町市、川西町、津南町、中里村、松之山町)

合併問題については、昨年7月から9月にかけて、町内24会場で町民のみなさんの意見をお聞きする集落懇談会を開催しました。また、平成12年3月と平成14年1月には、合併に関する意向調査ということで2回のアンケート調査を実施してきました。

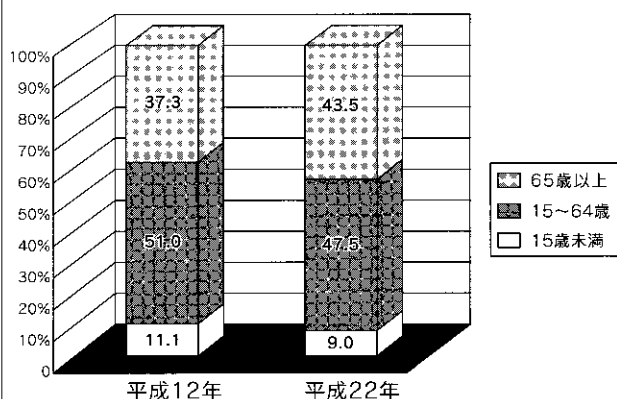
結果等につきましては、すでに「広報まつだい」にてお知らせ済みですが、集落懇談会およびアンケート調査の結果からも、合併するならば十日町圏域との声が多数をしめていました。

## 十日町圏域六市町村合併懇談会を設立

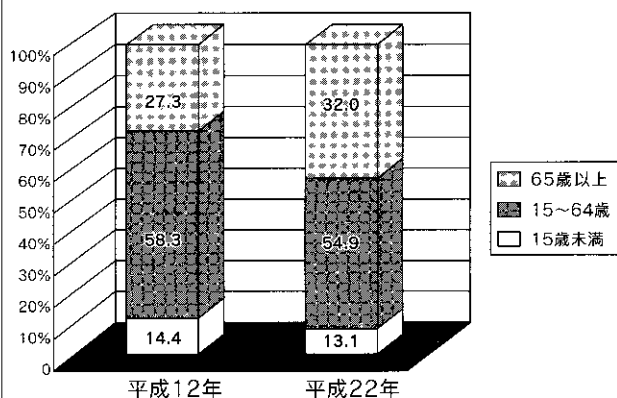
町では、町民のみなさんの意向をふまえて、今年4月に東頸城郡町村合併検討協議会を脱退しました。また、同4月に十日町圏域六市町村（松代町、十日町市、川西町、津南町、中里村、松之山町）の市町村長で構成する「十日町広域圏六市町村合併問題研究懇談会」が設置され、今後合併問題について調査研究を

## 平成22年の年齢別人口構成割合の見込み

### 松代町の少子高齢化率の見込み



### 十日町圏域6市町村の少子高齢化率の見込み



進めていくこととしました。今後は、合併関係市町村間において、任意合併協議会および法定合併協議会が設立され、合併ビジョンや市町村建設計画が策定されることとなります。合併にむけて、町民のみなさんの声を施策に反映させるため、一人ひとりの問題として考えていくことが必要です。財政優遇措置などを定めた合併特例法の施行期限である平成17年3月末をひかえ、現在の十日町圏域六市町村の状況を踏まえて、合併問題を探っていきましょう。

## 年齢別人口構成の見込み

著しく高齢化がすすむ現代で、福祉や医療の充実を図ることは、誰もが安心して暮らしていく社会を築くために大切です。しかし、それらを充実するための財政的な負担が増えることや高齢者を支える専門職員の確保が必要となってきます。また、一組の夫婦がもうける子供の数の減少などによる少子化にともない、高齢人口を支える若年層への経済的な負担の増加をは

じめ、さまざまな負担の増加が心配されます。現在、松代町では65歳以上の人口割合が37%ですが、平成22年には43%程度になると見込まれ、その後も高齢化率は上昇することが見込まれています。左の表は、合併により住民規模が大きくなることで高齢化率が緩和されていることを表しています。

## 普通交付税の交付額

(単位：億円)

| 区 分              | 松代町   | 十日町市  | 川西町   | 津南町   | 中里村   | 松之山町  | 合 計   |
|------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 平成 14 年度         | 17.4  | 46.5  | 20.9  | 26.8  | 20.8  | 14.6  | 146.6 |
| 平成 13 年度         | 18.5  | 49.4  | 22.0  | 27.9  | 21.1  | 15.5  | 154.4 |
| 増 減 比            | △6.1% | △5.8% | △5.3% | △3.9% | △3.4% | △5.6% | △5.1% |
| 人口一人当たり<br>交 付 額 | 41万円  | 11万円  | 25万円  | 22万円  | 32万円  | 45万円  | 19万円  |

普通交付税とは、所得税・法人税・酒税・消費税及びたばこ税の一部を財源に、国が県や市町村に交付するものです。

市町村に交付する額は、人口10万人を基準とする行政事務に必要な額（基準財政需要額）に対して各市町村の税収などから基準財政収入額を算出し、基準財政需要額から基準財政収入額を差し引いた額を交付するものです。すなわち、税収が多い市町村は交付税額が0（交付されない）、若しくは交付額が少なくなります。

また、小規模市町村については、人口区分に応じ行政事務に必要な額を加算算出（段階補正）して交付金が算定されていましたが、本年度より段階補正の見直しを行い一定規模未満の補正を廃止する方向で改正されました。これにより交付税に依存している当町では交付額が減少し、きびしい財政運営となることが見込まれます。

## 議 会

議員数（改正条例施行後）

(単位：人)

| 区 分   | 松代町 | 十日町市 | 川西町 | 津南町 | 中里村 | 松之山町 | 計   |
|-------|-----|------|-----|-----|-----|------|-----|
| 議 員 数 | 14  | 24   | 18  | 20  | 16  | 14   | 106 |

※地方自治法の改正による、平成15年1月から議員の法定数（抜粋）

|                              |     |
|------------------------------|-----|
| 人口 2,000～ 5,000人未満の町村        | 14人 |
| 人口 5,000～10,000人未満の町村        | 18人 |
| 人口10,000～20,000人未満の町村        | 22人 |
| 人口20,000人以上の町村 人口50,000人未満の市 | 26人 |
| 人口50,000～100,000人未満の市        | 30人 |

十日町圏域6市町村が合併したとすると、30人以下となります。これにより人件費の節減効果が見込まれますが、反面住民の声が行政に反映しにくくなる可能性もあります。そのため、旧市町村の区域ごとに、合併後の市町村長に対して意見を述べる事ができる「地域審議会」が設置できるようになっています。

## 職 員

職員数

| 市町村名                  | 松代町    | 十日町市    | 川西町    | 津南町     | 中里村    | 松之山町   | 合 計     |
|-----------------------|--------|---------|--------|---------|--------|--------|---------|
| 住民基本台帳人口<br>(H13.4.1) | 4,352人 | 43,703人 | 8,289人 | 12,564人 | 6,491人 | 3,168人 | 78,567人 |
| 一般行政職                 | 66人    | 275人    | 102人   | 134人    | 78人    | 67人    | 722人    |
| (職員1人当たり<br>人 口)      | 66人    | 159人    | 81人    | 94人     | 83人    | 47人    | 109人    |
| 教育委員会等                | 12人    | 84人     | 22人    | 22人     | 15人    | 11人    | 166人    |
| 水道・下水道・<br>病院等        | 11人    | 53人     | 20人    | 117人    | 14人    | 25人    | 240人    |

市町村合併により、行政事務が効率的になることで、十日町圏域6市町村で200人程度の抑制が見込まれるとともに、職員をより住民に密着したサービスの提供を行う部門に充てることができます。

# 9月1日は 防災の日

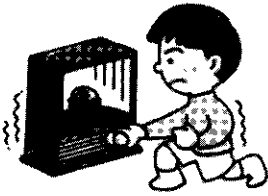
(8月30日～9月5日は  
防災週間)

「およそ地震の震源地など  
というのは他の地域が多い  
ものだという先入観が私共  
にはあったと思う。それが  
「まさかのまさか」が当地域  
の逆巻だったとはいまだに  
思われないのである。」  
(十日町地域消防本部「大揺  
れの恐怖」より)

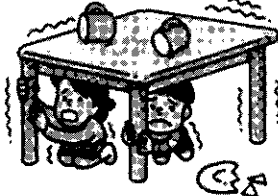
平成4年12月27日午前11  
時30分頃、津南町上郷逆巻  
地区を襲った直下型地震(震  
度5)での体験者の記録で  
す。

天井のはく落。鉄骨の湾  
曲。公共施設や民家など建  
物だけでも140戸に被害  
をおよぼしたこのような惨  
事は、私たちの地域でも発  
生することが考えられます。

## すばやい消火 火の始末



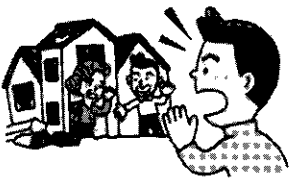
## グラッときたら 身の安全



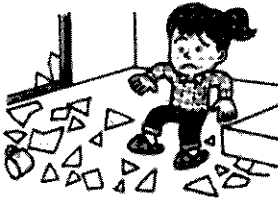
## 地震などから 身を守る10ヶ条

大正12年9月1日関東大地震を機  
部を襲った関東大地震を機  
に設けられている防災の日。  
襲いくる自然の猛威を人が  
未然に防ぐことには限界が  
あります。災害が発生した  
際に被害を最小限にするた  
めには、私たち一人ひとり  
日頃の備えが大切です。  
忘れてはならない防災へ  
の心がけ。防災は、自分と  
家族の生命、身体、財産に  
かかわる基本的な問題です。

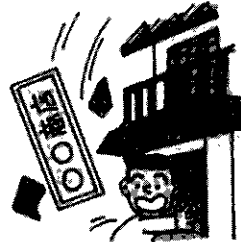
## 確かめてわが家の安全 近所の安否



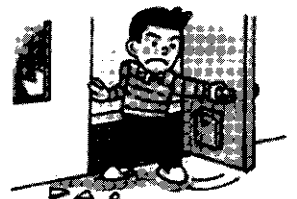
## 室内のガラスの 破片に気を付けて



## 落下物あわてて 外に飛び出すな



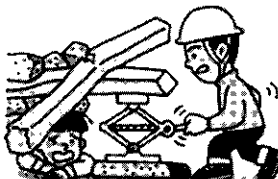
## 窓や戸を開けて 出口を確保



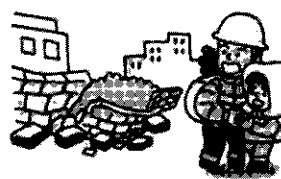
## 正しい情報 確かな行動



## 協力し合って 救出・救護



## 門や塀 川辺りに近づくな



## 避難の前に安全確認 電気・ガス



(イラストは、東京消防庁ホームページより)

## 9月9日は救急の日

救急救助や消火活動は、1分1秒の時間との勝負です。誤った情報は、救急車や消防車の現場への到着の遅れを招き、被害の拡大や人命救助の妨げになります。

### 119番のかけ方

119番へ電話するときは、あわてず、落ち着いて、次のことを正しく伝えてください。

- ①火災・救急の別 「火事」又は「救急」をはっきり伝える
- ②場所をくわしく正確に 建物の名前、近くの目印、世帯主名を伝える
- ③火災や事故等の状況 火災・事故等の状況を詳細に正確に伝える
- ④通報者の名前・電話番号を伝える

## 農業委員会の主な役割

### (1) 農地行政の適正な執行

農地の売買、貸借、転用等について、農業者を代表する機関として農地法に基づき公正に審査します。

### (2) 地域農業の構造改革を推進

農業の担い手の確保・育成に向けた「認定農業者への支援」と農地の有効利用に向けた「農地の貸借の促進」「農村の活性化」の対策を通じて活力ある地域づくりに取り組みます。

### (3) 地域の世話役活動と農業者の公的代表

農業委員一人ひとりが集落できめ細かな世話役活動を行い、農業者・集落の声を行政へ反映するため、農業委員会として建議等を行います。

## 農業・農村の 振興に向けて 新農業委員紹介

任期満了にともなう農業委員会委員の立候補届けが7月2日に行われました。その結果、立候補者は委員定数と同数で、無投票となりました。農業委員会は選挙による委員10人と町議会選任2人、10日町農協選任1人の計13人で構成されます。

### 新委員のみなさん



関谷正行 (56)  
松代〔議会〕



若井信夫 (61)  
蓬平〔選挙〕



佐藤堅一 (48)  
滝沢〔選挙〕



佐藤栄治 (64)  
室野〔選挙〕

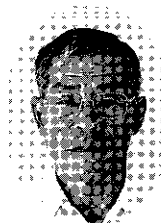


小堺貞男 (66)  
松代〔農協〕  
会長職務代理

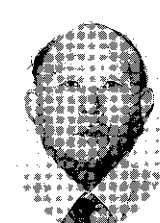


山本耕一 (55)  
犬伏〔議会〕  
会長

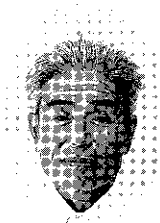
【敬称略 1号委員より順に紹介、氏名・（ ）は年齢・地区・「」は選任別】



富澤達司 (66)  
太平〔選挙〕



山岸重昭 (65)  
蒲生〔選挙〕



齋藤良平 (61)  
田野倉〔選挙〕



山岸正康 (58)  
東山〔選挙〕



牧田信二 (51)  
峠〔選挙〕



村山繁一 (59)  
室野〔選挙〕



仲村忠久 (62)  
儀明〔選挙〕

### “農地を守る” 農地流動化の推進に向けて

米穀の余剰在庫にともなう生産調整が強化される一方で、中山間地域においては耕作放棄面積の増加が懸念されています。松代町においても現在約180haの耕作放棄地があり、農地全体の約20%におよんでいます。これは、過疎化および高齢化による農家人口の減少によるもののほか、農地を「営農意欲のある農家に任せる」いわゆる農地の流動化・集積化が停滞していることも原因です。

松代町の産業を支えてきた農業。生命を育む食を作り出す農地。美しくかけがえない風景。これらを守り次世代に受け継いでいくためにも、農業の担い手への農地の流動化を促進し、町の限られた農地を守ることに大切です。

農業委員会では、農地の流動化に向けて、貸し手と借り手の相談に応じています。

問い合わせは、松代町農業委員会事務局 TEL 7-222

大地の芸術祭サポーターチーム「こへび隊」より

## 松代町の情報を募集しています

現在、まつだい駅南側に建設中の「雪国農耕文化村センター(仮称)」(文化村センター)には、松代の風土・文化・くらしを伝える、電子百科事典(デジタルアーカイブ)を設置します。

今後、5年から10年かけて松代町の情報を集積する計画です。資料は、写真・映像・文書・音として集めていきます。現在、こへび隊が中心となって制作準備活動を行っていますが、松代町のみならず、松代町の情報が必要です。こへび隊は特に次のような情報を求めています。

- 農業について…自慢の棚田と里山
- 食について…郷土料理と菓子、松代で採れる食材、町の美味しいもの情報、食に関する町の名人など。
- 農村と集落について…集落に語り継がれたお話、集落の小さなお祭り、集落でがんばって取り組んでいること。
- 昔の学校…昔の学校の思い出の品々(例えば、両親の顔を描いた図画、教科書やノートや文房具、教材など)
- 校歌(懐かしい校歌を録音する計画です。)

★電子百科事典およびワークショップの活動についてのお問い合わせや情報提供は、松代町役場企画振興課まで

## 第2回大地の芸術祭

## 「越後妻有アートトリエンナーレ2003」

まで、あと1年!

開催期間：平成15年7月20日～9月7日まで

『アートをきっかけにした町づくり』が、大地の芸術祭の方法です。では、どうしてアートを用的のでしょうか。アートには3つのはたらきがあります。

- ①場の発見。日常では見過ごされがちな場が、魅力的な場の力を持ちます。
- ②発信力。アートが設置されることで、アートの発信力によって松代が日本全国や世界に発信されていきます。
- ③人と人との出会いの機会づくり。例えば、作品の

準備作業を地元の人々とアーティストやサポーターが一緒になって楽しく創りあげること、さらに作品の魅力を高めることになります。そして、アートの魅力は写真やテレビでは伝わりきれません。観客は場の雰囲気も感じ取ろうと、作品のある場所にやってくるようになります。

このようにアートの役割は、日本全国、世界中から大勢の人々が妻有へ足を運んでもらえるようにするきっかけとなることです。

現在、松代町で活躍中のこへび隊メンバーを紹介します。(写真左から)

### 福崎 礼奈 (ふくざき れな)

文化村センターの「グッズショップチーム」で活動をしています。大学で美術教育を専攻しています。前回の大地の芸術祭では、妻有のいろいろな場所でアート作品の管理をしました。新潟市出身なので、同県で開催されるこの国際的な芸術祭に興味を持っています。

### 水野 真弓 (みずの まゆみ)

版画家の美術館で働いています。前回の大地の芸術祭では地元の人に大変お世話になりました。現在



も、文化村センターで「カフェレストランチーム」に参加して構想づくりをしています。

### 板野 康治 (いたの やすはる)

大学院で都市計画を研究しています。前回の大地の芸術祭に参加した知人の紹介で活動に参加しました。私たちと一緒に新しい地域

づくりを切り拓いていきましょう。

### 町本知亜希 (まちもと ちあき)

建築を勉強しています。現在、各地区で開催されている「ワークショップ」で活動しています。みなさんとワークショップを通して、楽しく交流したいと思っています。

### 馬目恵津子 (まのめ えつこ)

現在印刷会社でアルバイトをしながら、こへび隊の活動に参加しています。会社でもこへび隊でもまだまだ新米ですが、できるかぎり松代へ行って活動したいです。電子百科事典(デジタルアーカイブ)制作チームでがんばります。

ワークショップ  
展開中



第2回大地の芸術祭に向けて

彫刻家 村木 薫 さん（新潟市在住）

“土壁再生プロジェクト”

タイトル 『松代町商店街周辺における土壁による修景』

村木さんが松代町で作品を手掛けるのは、今回が三作目となります。おととしの大地の芸術祭において、商店街の活性化に寄与すればと、町民のみなさんと協働で土壁づくりを行い、訪れた多くの人たちから好評を博しました。

彫刻家の村木さんが土壁に興味を持ったのは「学生時代に朽ちかけた土蔵の典雅な土壁に憂

愁を感じたので」と忘れ得ぬ思い出があったからだといいます。

「街に残るものだから、自分が引かれた素材で表現したい」と今回は、街を吹き抜ける『風』をイメージして作品を仕上げました。

今年5月から壁の下地を竹と藁で編み、荒壁、中塗り、仕上げ塗りと四つの工程を魚沼テクノスクール（堀之内町）の学生たちと共に二カ月間に渡って作品を創りあげました。

この作品は、松代中町の富澤邸（旧きくもとさん）でご覧いただけます。



作品創りに協力した魚沼テクノスクールの生徒さんおよび家主の富澤さんたちと共に（前列左二番目が村木さん）



地球46億年の歴史を探る

アンモナイトを  
掘り出せ



7月18日、早稲田大学の校外施設である旧蒲生小学校において、松代町科学実験教室が行われました。この日、松代町の小学校5・6年生の児童を対象に、早稲田大学教育学部の講師や学生が指導にあたりました。実験は、泥岩に埋もれたアンモナイトの化石を金づちとタガネで根気よく掘り

出す作業で、児童たちは化石に傷をつけないように慎重に岩を削っていました。アンモナイトの化石は口本の各地の白亜紀（今から1億年くらい前の頃）の地層から発見されており、生命の記録である化石を調べることで地球の歴史を探ることがねらいです。





# 「都会に緑を潤す」 がんばれ松代の木 緑の少年団

7月6日・7日の二日間、松代町緑の少年団12人による東京都世田谷区での植樹活動が行われました。

「緑をとおした交流を」と松代町と交流を重ねている世田谷区でのこの活動も今年で3年目になります。

当初、環境のちがいにブナの成長も懸念されていましたが、少しずつ根を張りながら「都会の環境に役立てば」と参加した団員たち一人ひとりが思いを込めて、地元の子供たちの児童と共に植樹を行いました。

今回参加した団員たちの声を紹介します。

## 富沢 岳さん

ぼくは、木を植えるのは初めてだったけど、しっかりと植えることができてよかったです。枯れないで大きくなってほしいなあと思いました。

## 五十嵐さくらさん

ブナを植えたとき「ちゃんとtribなブナになれよ」という気持ちで植えました。植樹祭が終わったあと、とてもいい気分になりました。大きくなったら、また見にきたいです。

## 高橋 勇貴さん

木の先生からブナの植え方や特徴を教えてもらってから植え始めました。まず穴があってその中にブナとクロモジを立たせ根の周りに土をかけてふみ固めました。二本やったのが精一杯でした。

## 小堺 翔太さん

ブナの話聞いて、初めて知ったことは、ブナは「寒いところが好き」「植えて15年を過ぎると急に成長が早くなる」ということなどです。これから世田谷にも森が増えてほしいです。そして、これからも森を守っていききたいです。

## 小野島彬子さん

東京は緑が少ないので、ここに松代の木を植えて緑豊かな所になってほしいと思い、大切に植えました。去年植えた木もあり、この公園にちょっとでも緑が多くなるといいです。

## 室岡優紀雄さん

木を植えて、土を固めておまじないをかけました。「早く元気に育っていつてくれ」と念じました。こ



れからは緑を一生守りたいです。

## 市川 正恵さん

ブナは氷河期の頃、東京や九州の所まで広がったそうです。でも氷河期が終わると暖かくなり、寒い所の新潟などの北の方へ行きました。ブナは、実が多くなる年とまらない年があるそうです。どれも、初めて知ったことでした。

## 高橋 大さん

ブナは、実をいっぱい実らせる年と少ししか実らせない年があるそうです。なぜかという、実が少ししかならなかったら、実を食べるリスやネズミが増えず、さらにリスやネズミが少ないのに大量の実がなると、リスたちは余った実を埋めてそこからブナの芽が出るというのです。ブナは頭がいいなと思いました。

## 若井 千恵さん

去年ブナを百本植えた所には、12本くらいしか残っていないそうです。ブナは暑いところが苦手、東京のあたりにはあまりないそうです。一日だけでもいろいろな体験ができたし、千歳小学校とも慣

れてきてよかったです。

## 若井 晃さん

植樹のあと、千歳小学校にもどって焼物を作りました。茶わんや皿などにワインのビンのかけらを入れました。でき上がるととてもいい色になるということです。ぶじにでき上がってほしいなあと思いました。

## 鈴木 拓さん

ブナ植えをするときに、土をかぶせてそれから土をかたくするために足でふみました。ただふむだけなのに緊張してしまうということ松代の人たちに教えてあげたいと思います。ぼくは、これから松代でもブナを植えてみたいです。

## 武田 亜也さん

世田谷区の千歳小学校の人はいい人ばかりでしたが、なかなか話しかけられませんでした。でも、植樹をいっしょに体験できたのでよかったです。東京は、木があまりないと思ったけど世田谷はたくさん木があるんだなあと思いました。とてもうれしかったです。



12月下旬  
完成

## 高齢者いきいきセンター(仮称) の愛称を募集します

『高齢者いきいきセンター(仮称)』は、高齢者の健康増進と仲間づくりを支援するコミュニティセンターとして、現在、松代下島地区にて建設を進めています。

町では、この施設が親しみをもってたくさんの方からご利用いただくために、施設の愛称を募集します。たくさんのご応募をお待ちしています。

### 【応募方法】

『施設の愛称』および応募者の住所、氏名、年齢、電話番号、性別を記入のうえ、官製はがきまたはフックスでのご応募ください。

### 【応募締め切り】

9月30日(月)

\*採用させていただいた方には芝峠温泉入浴券を、また応募者全員に粗品を進呈します。

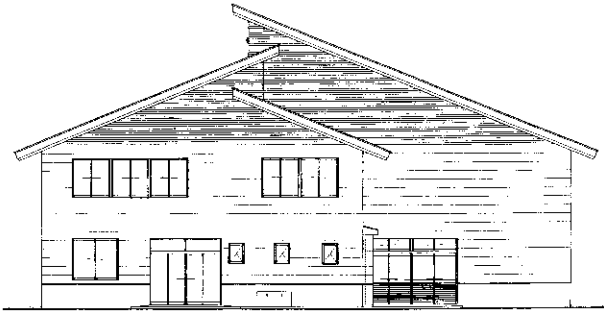
### 【応募・問い合わせ先】

松代町役場住民課社会福祉係

TEL 7-2220  
FAX 7-2300

### 施設の主な用途

- 1階：室内ゲートボール場、管理室、談話室、休憩室、トイレなど  
2階：多目的室(2室)、調理室、トイレなど



## スポーツ

### ゲートボール

◆東京松代会会長杯争奪ゲートボール大会(7月11日/松代町民グラウンド)

優勝 犬伏Aチーム

2位 蒲生Aチーム

3位 松代Cチーム

◆JA十日町しづみ地区ゲートボール大会(7月18日/松之山町民グラウンド)

優勝 会沢チーム

3位 蒲生Bチーム

4位 田野倉チーム

### パターゴルフ

◆春季町長杯争奪パターゴルフ大会(7月6日/芝峠温泉)

優勝 樋口芳男さん

2位 小野島良作さん

3位 植木直栄さん



### バドミントン

◆第22回新潟県スポーツ少年団総合体育大会上越地区予選会(7月7日/総合体育館)

●小学生女子団体戦

1位 まつだいYJ(武田千尋さん、小嶋華奈子さん、柳瑞穂さん、関谷水希さん、中村江美香さん)

●中学生男子シングルス

1位 高野竜人さん

2位 関谷勝太さん

●中学生女子シングルス

2位 市川麻美さん

◆第21回長岡地区社会人バドミントンリーグ戦15部(優勝決定戦7月14日/小千谷市総合体育館)

1位 まつだいYC

### ソフトバレーボール

◆第19回町内レディースソフトバレーボール大会(7月14日/総合体育館)

1位 きみたちみんな"マング"だね

2位 ミックスパワーズ

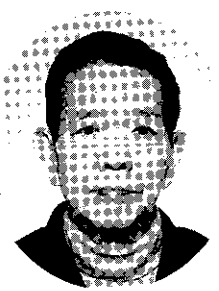
3位 ビアとも

## 松代町走ろう会からのお知らせ

走ろう会では、吉川町の尾神岳の登山を計画しています。お気軽にご参加ください。

- ・日時 8月24日(土) 松代町役場前 午前8時30分集合
  - ・持ち物 おにぎり・水筒・雨具
  - ・対象者 小学生から大人(小学3年以下の児童は保護者同伴)
  - ・参加費 小中学生 500円 大人 1000円(車代及び保険料込み)
  - ・その他 昼食時に焼肉を予定しています。下山後長峰温泉で入浴。
- 問い合わせ及び申込先 松代町走ろう会事務局 山岸(Tel 7-2931)





## ふるさとを訪ねて

### 宮 沢 宇 吉

船橋市在住

(下山・大森屋)

東京下山会創立5周年を迎え、これを期に故郷下山を訪れては。と役員会で企画されたのが昨年の2月でした。以後、参加者の把握その他の準備に追われながら3月11日の冬の陣に合わせ初代会長と私で村の区長さんほか有志の方々

にお願いに上がりました。初めての行事でもあり何かと戸惑いもあったでしょうに私たちの願いを温かくご理解いただきました。

訪問の日程が近づくにつれ、出発前夜は眠れず朝も四時前に起きてしまいました。

6月1日上野駅公園口に、早い人は6時前に姿を見せて、一人も遅刻せず6時30分には全員(22名)が揃い、会長の宮沢欣二さんの挨拶で定刻より30分も早く出発となりました。

天気は快晴。私たちを乗せた中型サロンプスは、首都高から関越道と故郷めざしてまっしぐら。予定より一時間も早い到着にもかか

わらず、村の入り口には大勢の皆さんが出迎えていただき、思わず胸が熱くなりました。新緑の山々にこだまするカッコウとホトトギスも私たちを迎えてくれ、身も心も洗われる思いでした。先祖の眠る墓地に一人ひとりが線香と花を添えて「会いにきました」とお参りを済ませ、公民館に到着。嬉しさで懐かしさで手を取り合い肩を抱いて喜び合う姿など、村を離れた人と村の方々の交わりは、なかなか実現できない事です。午後1時から懇親会が始まり村中総出で私たちのために特に、お母さんたちの心配りの手料理は最高。懐かしい料理に舌鼓を打ちながらのお酒でカラオケとジャンケン勝抜きゲーム、最後に下山伝統の盆踊りと最高の盛り上がりで夕暮れにお開きとなりました。その後全員が各家庭に分宿して夜更けまで語り合った温情のふるさととは生涯忘れません。

翌2日朝、村中の皆様の見送りを頂いて9時出発。昨秋建立のほくほく観音をお参りし、松之山の温泉で疲れを癒し午後1時出発。道中も順調で5時に上野着、無事に解散となりました。

このたびの行事をビデオテープに収め永久保存するため、撮影専門の方を同行していただきましたので、後で観賞するのが楽しみです。



## 東京だより

### 役員交替のお知らせ

・松代地区副会長 笠原 清

(前任 故鈴木重雄)

・松代地区副会長代行 片山徳重

(前任 笠原 清)

### ゴルフの会からのお知らせ

今年も前年と同様、ゴルフの会を9月1日(日)、2日(月)の二日間各1Rを、白河高原CCで開催します。(初参加の方歓迎)

下界の厳しい残暑をよそに、那須連山から吹き下ろす、高原の風の心地よさを味わいながらゴルフを興じてみませんか。

詳細については、

問い合わせ先 幹事 鈴木彦平

TEL 049-243-0981

### 会員募集のお願い!

会員の皆様、東京松代会の会員をご紹介ください。

お友達、兄弟姉妹、クラスメイト等々、東京松代会までご紹介ください。

### 「東京松代会」会員ご紹介先

| 地区  | 代表者名 | 電 話          |
|-----|------|--------------|
| 松 代 | 笠原 清 | 03 3692 3564 |
| 峰 方 | 萬羽三蔵 | 03-3900-8547 |
| 伊 沢 | 山岸弘政 | 045-934-9584 |
| 山 平 | 井上正美 | 044 877 9611 |
| 奴奈川 | 石野 士 | 048-832-7288 |

募集用のパンフレットを用意してありますので、ご利用ください。

## ● 松代の自然 ●

### ツチアケビ

7月4日の夜のことで、東山の山岸益夫さんからお電話で「ツチアケビの花が咲いた」という情報もたらされました。かねてからもしもそんなことがあったらご一報をとお願いしてあったのです。翌日の5日は午前中総合健診でしたので、午後から出かけてみました。

『ゆきふた』家を訪れてみると、山岸さんが待ち構えておられ、早速近くの畑のそばに案内してくださいました。すると、あるわあるわ、17本にもおよぶものが花ざかりで林立しているという壮観さ。早速カメラに収めさせて頂く。

このツチアケビという植物は無葉ランの一種で葉がありません。このようなものにショウキランとかオニノヤガラなどがありまして、キノコの菌糸との相関係係で共生しており、養分をそちらから貰うので、同化作用で葉緑素を作る必要がなくなり、葉が退化してしまっただけという変わり者たちです。

ヤマノカミノシヤクジョウという別名もあるとおり、錫杖の飾りに似た花がぎつしりと淡い褐色で咲いていました。これが秋になる

とウィンナーソーセージそっくりの実が熟します。その形からツチアケビというのです。

義姉の話ですと、昔の人はチチアカイブと呼び、虹がかかった根元にこの草が生える、というロマンチックなものでした。

山岸さんには、秋の熟した頃にも是非またお知らせをと願って退出しました。

ヤマトウガラシ・ヤマサンゴとも呼ばれるこの植物は強精に効くとかいわれますが、専門家は疑問視しています。

私は若い頃に千年の林の中で花を見ただけで、実になったものを『ふだぎ』家の高橋モミ婆ちゃんから貰ってスケッチしたことがあり、それ以来の出会いですから、懐かしくも珍しい場面に嬉しく思いました。（文と写真・高橋八十八）



### 地域医療の充実を目指して 松代町国民健康保険 診療所（室野診療所） 診療再開

高齢化をむかえ、健康不安を抱える高齢者が増えつつある現在で、地域に根ざした医療行政を進めることが求められています。町では、8月より新たに川西町の医療法人社団 富田医院院長の富田浩先生に委託し、3月から休診していましたが「室野診療所」での診療を再開しました。診療日および診療科目については、以下のとおりです。

#### 診療のご案内

診療日：毎週火・木・土曜日（祝祭日を除く）  
診療時間：午後2時～午後4時  
診療科目：内科、外科、胃腸科、皮膚科  
問い合わせは、  
室野診療所（TEL 8-2101）もしくは松代町役場 住民課 国保介護保険係（TEL 7-2220）まで



室野診療所で診察する富田医師



## 地域の安心を担う

## 松代町消防団連合演習

(7月28日：町民グラウンド)



## 第27回松代町高齢者スポーツ大会

(7月17日：総合体育館)



## 大会結果

優勝：奴奈川チーム

2位：松代Bチーム

3位：山平チーム

4位：松代Aチーム

(参加者  
4チーム、563人)年金はあなたの保険料で  
ささえられています

## 納付期間と保険料

国民年金保険料は、20歳～60歳までの40年間納めることになっています。

## ◆定額保険料（平成14年4月から）

1カ月 13,300円

## ◆付加保険料（希望する人だけ納付）

1カ月 400円

## 保険料の納め方

国（社会保険庁）から送付された納付書により、銀行、郵便局、農協、信用金庫、労働金庫などの窓口で納める方法と口座振替の方法があります。

国民年金保険料のお支払いは、  
納め忘れのない口座振替で！

口座振替なら一度手続きするだけで、あなたの指定口座から自動的に引き落とされ、納め忘れありません。

申込み  
手続きは

あなたの預貯金口座のある銀行、郵便局などで「口座振替納付(変更)申出書」に必要事項を記入してお申し込みください。



## まつだい観音祭から



# 「健康まっだいファミリースラン21」を支える食推さん

食推（しょくすい）さんと呼ばれる私たちは、「松代町食生活改善推進委員」が正式な名称です。

「健康まっだい

ファミリースラン21」とは

人口の高齢化の進展に伴い、疾病の治療や介護に係る社会的負担が過大となることが予想されています。

そこで、従来の疾病対策の中心であった健診による早期発見又は治療にとどまることなく、健康を増進し、疾病の発病を予防する「一次予防」に一層の重点を置いた対策を進めることが急務となっています。



総合健診での食推展示コーナー

これを受けて、松代町では今年3月に、健康づくり計画として「健康まっだいファミリースラン21」を策定しました。これは、私たちが自分の健康や家族の健康に関心を持ち、家族全員の健康づくりを目指すことを目的としています。そのために、「生きがい」こころの健康」と「からだの健康」を健康の2本柱に、食生活や運動習慣などの課題ごとに目標値を掲げて推進するものです。

生活習慣病予防と食生活

生活習慣病といわれているがんや心臓病・糖尿病などは飽食化している現代社会で急激に増えつつあります。健康は、なにげなく暮らしている毎日の生活習慣、とりわけ食習慣の積み重ねによって大きく左右されます。



食習慣についての講習会

松代町の食推さんは、現在48人。毎年各地区において減塩食や栄養のバランスを考慮した食生活の指導をとおして、私たちの健康づくりを支援してくれる人たちです。

長年続けてきた食習慣を改善することは大変難しいことです。しかし、症状が出てから改善するよりは、予防をするほうがより健康的な生活ができるということです。



## \*薬の包装が変わった！

最近もらった薬にミシン目が、なくなつて不便に感じたことはありませんか。

実はこれは、患者さんの誤飲防止対策なのです。シート・パッケージからお薬を取り出さずにシートのまま飲んでしまい、鋭角部が食道粘膜にささり、時には重い症状に至るケースがありました。そこでミシン目をなくし、簡単に切れないようにすることで誤飲を防止しようと考えたわけです。シートの裏には取り出し図も印刷されるようになり、各メーカーの患者さんの立場になった措置であると考えられます。

## \*シートに薬の名前が

また、少し前まで病院から出る薬には、謎のカタカナ名がシートに印刷されているだけでした。最近になって、薬のカタカナ名がシートに印刷されるようになり、どなたでも薬の名前が分か

るようになりました。「患者は医者を出す薬を黙って飲んでいればいい」というのは、一昔前までのことです。当院でも情報提供行っています。自分の服用する薬ですので、服用方法、注意事項はもちろん、薬効、薬品名は、知っておいた方が良いでしょう。

薬の事で分からないことがありましたら、薬局までご連絡ください。当院の方針は、地域の皆様のための病院であります。薬局も当院の方針のもとで働いております。これからもよろしくお願い致します。

## 薬局で薬を受け取るときは

- ①薬局から名前を呼ばれたら大きな返事で
  - ②薬の袋の名前をよく確かめて
  - ③用法・用量をよく確かめて
  - ④薬を常用している人は、いつもの薬と同じか確かめて
- 分からないことは薬局または看護師さんにお聞きください。

短 歌

米の生産者の皆様へ

「計画外流通米」の販売には  
届出が必要です。

生産者が消費者や販売業者などに  
直接米を販売する場合は、法律により  
食糧事務所に予め届出が必要です。

この届出はお米の流通量や流通実  
態を把握するため必要なものですの  
で必ず届出してください。

届出用紙は、食糧事務所のほか農  
協・役場にもあります。

届出・問い合わせ先

新潟食糧事務所魚沼支所十日町分室

TEL 0257-57-6521

FAX 0257-57-6522

「田舎・雪国俳句」を募集

東頸城を「俳句」で表現してください

- ・田舎、雪国をテーマとした俳句とします
- ・応募点数は1人2点以内

【応募資格】小学生（4～6年生）・中学生  
一般（高校生を含む）

【応募期間】7月1日（月）～11月15日（金）

【審査発表】12月上旬、入賞者に通知  
応募・問い合わせは（財）雪だるま財団内  
東頸城広域まちづくり委員会TEL2-3988

蒲生句会

この里に老ゆる幸せ茄子を  
もぐ 翔山  
物忘れどっちもどっち冷奴  
耕山  
頸城野を一望にしてずみの  
朴雪  
花 阿賀野川蒼き流れやねむの  
月日  
花 風格をそなえしジャンボ南  
瓜かな 鐵堂  
紫陽花の花をかぞえて古稀  
耕人  
迎う 荒らし田に狸棲みつき草茂  
折人  
る 短冊を狭しと書いた願いご  
と 山路  
足裏を初ひぐらしにくすぐ  
龍峰  
野石 念

しづみ俳句会

庭石にぬくもり残る薄暑か  
な 八千代  
夕焼の妙高山を見て発車  
紅茶  
万緑をしぼりし流れダムに  
入る 六花  
老妻の伽羅路の鍋焦しけり  
淡水  
木陰なる清水いつきに呑み  
ひろし  
鉄線花軒を彩どり二十年  
とし子  
論果てず逃水を追ふ帰り道  
枯水  
訪ね来し瀬音の中の河鹿宿  
公鳴

東頸城郡美術展覧会が松代町で開催されます

【日 時】10月12日（土）～14日（月） 9時～18時まで

【会 場】松代町総合体育館

【作 品】絵画、彫塑・工芸、書道、写真の4部門

出品数は1部門一人3点以内

【出品資格】東頸城郡内に住所登録または、勤務地を有する  
高校生以上の人

【作品提出】10月3日（木）～4日（金）までに公民館へ

詳細は事務局 松代町公民館 TEL7-2301まで



昨年、郡展賞の鈴木洋一さんの作品「まつり」

人口の動き

|             |         |        |
|-------------|---------|--------|
| 男           | 2,081人  | (-7人)  |
| 女           | 2,204人  | (-4人)  |
| 計           | 4,285人  | (-11人) |
| 世帯数         | 1,489世帯 | (4世帯)  |
| .....       |         |        |
| 出生          | 1人      | 死亡 3人  |
| 転入          | 8人      | 転出 17人 |
| (14年7月末日現在) |         |        |

戸 籍 窓 口

(7月1日～7月31日)

元気な良い子に(出生)

西潟史有香(弘明・理香)

(福島・かみ)

ご冥福を祈ります(死亡)

齋藤 辰一(75歳)

中條 爲榮(78歳)

萬羽 一博(63歳)

幸せ多い人生を(婚姻)

室岡 伸宏・栄美子(松代・マンバ)

山岸 一大・徐 逸芳(松代・いんきよ)

(片桐山・はば)

## 町の行事予定（８・９月）

|         |                                                                           |
|---------|---------------------------------------------------------------------------|
| 8/21(水) |                                                                           |
| 22(木)   | 糖尿病予防教室 総合センター 13:30～<br>戦没者慰霊祭 少林寺 9:00～<br>教育長杯争奪ゲートボール大会 町民グラウンド 9:00～ |
| 23(金)   | 心配ごと相談 ディサービスセンター 9:00～<br>処暑                                             |
| 24(土)   | 楽しい映画会 松代町図書館 13:30～                                                      |
| 25(日)   |                                                                           |
| 26(月)   |                                                                           |
| 27(火)   |                                                                           |
| 28(水)   |                                                                           |
| 29(木)   | 小中学校始業式<br>健志会 総合センター 9:00～<br>松寿大学公開講座 総合センター 13:30～                     |
| 30(金)   | 心配ごと相談 ディサービスセンター 9:00～                                                   |
| 31(土)   |                                                                           |
| 9/1(日)  | 防災の日                                                                      |
| 2(月)    | ワークショップ作品展示会 ふるさと会館(14日まで)                                                |
| 3(火)    |                                                                           |
| 4(水)    | アルコール相談会 在宅介護支援センター 13:30～                                                |
| 5(木)    |                                                                           |
| 6(金)    | 心配ごと相談 ディサービスセンター 9:00～                                                   |
| 7(土)    |                                                                           |
| 8(日)    | 中学校体育祭<br>白露<br>町民バスケットボール大会 総合体育館 9:00～                                  |
| 9(月)    |                                                                           |
| 10(火)   | 中学校郡わたしの主張大会<br>三種混合予防接種 総合センター 13:30～                                    |
| 11(水)   |                                                                           |
| 12(木)   | すくすく教室 松代保育園 9:00～                                                        |
| 13(金)   | 中学校郡新人陸上大会<br>心配ごと相談 ディサービスセンター 9:00～                                     |
| 14(土)   |                                                                           |
| 15(日)   | ほくほくの里 敬老会<br>敬老の日                                                        |
| 16(月)   | 振替休日                                                                      |
| 17(火)   | 小学校郡陸上大会                                                                  |
| 18(水)   |                                                                           |
| 19(木)   |                                                                           |
| 20(金)   | 小学校芸能教室<br>心配ごと相談 ディサービスセンター 9:00～                                        |

### 編集後記

大地の芸術祭に向け、各地域でワークショップが開かれています。「ワークショップ」を直訳すると作業場とか研究会という意味になりますが、芸術祭関連では、「一つのテーマに、複数の人が協働で創造する」ということになりそうです。「協働で創る」芸術を身近に感じることが、理解を深める近道ではないでしょうか。

## お知らせ

### 十日町地域衛生施設組合からのお願いとお知らせ

#### ◎次の点に気をつけてごみを出してください

1. 暑い季節を迎え水分の多いごみが増えています。ごみはしっかり水切りをして、ルールを守って出してください。
2. 資源物を出すときは、収集カレンダー・ごみ便利帳をよく見て間違えのないように分別して、『ラベルや汚れなどをとって』きれいにしてお出してください。
3. ごみ収集作業中に発火事故が発生しています。スプレー缶は穴を開けて、鉄・アルミ類の収集口に出してください。

#### ◎祝日及び振替休日でも『燃やすごみ』の収集を行います

9月から月・火・木・金曜日が祝日又は振替休日の場合でも『燃やすごみ』の収集を行います。ただし、燃やすごみ以外の資源物や埋立てごみについては、これまでと同様収集を休みます。燃やすごみの収集日については、地区ごとに月・木または火・金となっており、収集するのはそれぞれの曜日に当たっている地区だけとなりますので、注意してください。(表参照)

※12月31日～1月3日は燃やすごみも含め全ての収集を休みます。

| 祝日又は振替休日                                                    | 『燃やすごみ』収集地区                                               |
|-------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| 9月16日(月)・23日(月)<br>10月14日(月)・11月4日(月)<br>12月23日(月)・1月13日(月) | 松代・小屋丸・池之畑・下山・会沢・清水・桐山・蓬平・東山・海老・田野倉・仙納・蒔平・寺田・名平・蒲生・儀明     |
| 2月11日(火)<br>3月21日(金)                                        | 小荒戸・太平・菅刈・田沢・千年・池尻・犬伏・孟地・片桐山・滝沢・中子・苧島・福島・奈良立・室野・竹所・峠・木和田原 |

問い合わせ：十日町地域衛生施設組合 電話0257-52-3924

### 高齢者とその家族のよろず相談

相談電話 025-285-4165(新潟ユニゾンプラザ3F)

新潟県高齢者総合相談センターでは、お年寄りやその家族の方々が抱える悩みごとや心配ごとの相談を無料でお受けしています。(8月から9月の日程は次のとおりです。)

| 相談の種類           | 相談時間                           | 8月            | 9月     |
|-----------------|--------------------------------|---------------|--------|
| よろず相談           | 毎週月曜日から金曜日 9時～17時<br>(土日祝日は除く) |               |        |
| 専門相談(予め予約が必要です) |                                |               |        |
| 法 律             | 13:30～16:00                    | 5・12・19・22・26 | 2・9・30 |
| 医 療             | 13:30～15:30                    | 7             | 4      |
| 痴 呆             | 14:00～16:00                    | 21            | 18     |
| 年金・保険           | 13:30～15:30                    | 6             | 3      |
| 税 金             | 10:00～12:00                    | 9             | 13     |
| 健康・介護           | 10:00～16:00                    | 8             | 12     |



# 平成14年度 第57回 新潟県美術展覧会 入賞作品から

西潟 浩平さん（福島）  
（雅号：西潟白舟）

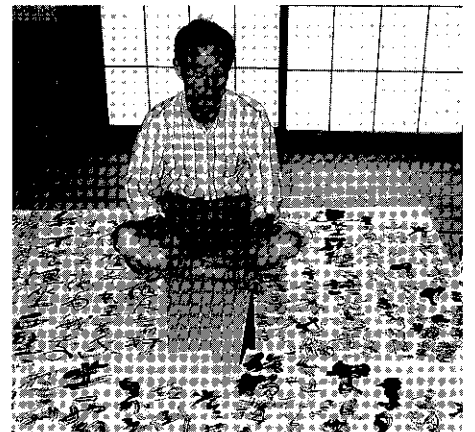
## 「韓愈の詩」 （入賞）

「新しいものへの挑戦」二つと同じもののない作品の中で、このことを常に心掛けて筆を持つそうです。

今年度の県展で8回目の入選を果たした西潟さんは、今までは技巧を重ねながら作品創りを心掛けてきましたが、「伝統に固執している」と新しい感性は生まれません」と個性を紙面にぶつけます。

最近、仮名混じりの調和体作品が人気を集めています。が、昔のままの書き方ではなく、そこに何か新しい感性を現したいと、今回の漢字作品は一本の竹の先を毛のように細く割いた「竹筆」を使って書いたそうです。

「竹筆の持つ特性を



生かし、文字に墨の潤渇を与えて強弱をつけながら紙面を構成しました」とこれまでの作品とは違った技法で作品創りを手掛けた西潟さん。この作品も50枚ほど書いた中の一枚だそうです。「入選できたのは運が良かったからです」と振り返っていました。

唐の詩人で信念硬骨の人として知られた「韓愈」の詩を用いたのもそんな信念の現れでしょうか。

## お じ ゃ ま し ま す

今回は、毎月の広報でおなじみの松代町短歌会を訪れました。



松代町短歌会（代表石野 勝さん）は、毎月一度、日ごろ会の皆さんが詠んだ歌を持ち寄り合評会を開催しています。

7月15日、この日集まったのは5人の会員の皆さん。一人2〜3首の歌を詠み、それぞれの歌の一字一句を全員で吟味しながら歌に研ぎをかけています。

「自分の作った短歌のすきを突かれるのが勉強になります」とこの日出席していた柳コメさんは話していました。

五七五七七の決められた型の中に、誰もが一目瞭然に情景を思い浮かべることができるように語句

を探りながら作品を仕上げます。「短歌に季語はありません。叙情や情景、季節感を擬人・比喻を用いて表現するのです」と本山祖道さんは短歌の手法を語ります。

また、石野さんは「移りゆく季節や年々変わる社会の中で、その変化を敏感に感じ取れる澄んだ視線で捕らえることも大切なのです」と自身の短歌への姿勢を話していました。

いま、松代町短歌会では会員を募集しています。経験がなくても大歓迎！ 貴方の新しい感性を短歌で表現してみませんか。入会ご希望の方は代表 石野 勝（TEL 8-2163）まで



合評会の様子